

(2) 修正の理由(連結・個別)

当社は半導体製造プロセスの前工程で使われる消耗品の製造・販売を行っております。

当期の業績につきましては、世界経済の減速懸念から、1月から3月にかけての売上高は損益分岐点を下回るものと想定しておりましたが、1、2月の売上実績を踏まえ、見直しを行いましたところ、3月までの年度内につきましては、ある程度の売上が見込める状況となりました。そのため、通期売上高は当初予想を下回りますが、営業利益、経常利益につきましては、第3四半期までの蓄積が奏功し、予想を上回る見込みとなりました。また、当期純利益につきましても、下記のとおり固定資産の減損損失を特別損失に計上しますが、当初予想を上回る見込みであります。

(注)上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金(円)				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回予想 (平成24年5月9日発表)	—	0.00	—	5.00	5.00
今回修正予想	—	0.00	—	7.00	7.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績(平成24年3月期)実績	—	0.00	—	7.00	7.00

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する安定的な利益還元を経営の重要課題として認識しております。また、急速な技術革新に対応した設備投資、競争力の維持・強化を図るための財務体質の強化に努めるとともに、長期的な視野に立った配当水準の向上に取り組む方針であります。

当期は、上記業績予想の修正のとおり、通期業績見通しが当初の予想を上回る見込みとなったこと、また、前年度と比較しても遜色のない業績となる見込みから、株主の皆様への利益還元のため、期末配当を当初予想に対して2円増配の1株当たり7円に修正することといたしました。

なお、本件は平成25年6月20日開催予定の定時株主総会において付議する予定であります。

3. 減損損失の計上について

山形工場(山形市大字志戸田)は、昭和53年に半導体製造装置用石英ガラス製品分野への進出を契機に取得し、以来、平成10年に蔵王工場(山形市蔵王松ヶ丘)を新設するまでの間、生産の拠点となっております。さらに、平成13年には蔵王南工場(山形市蔵王松ヶ丘)を新設し、それ以降は蔵王工場を含めた2工場に生産を集約し、山形工場は原材料の保管と切出しを行う拠点として活用してまいりましたが、本日の取締役会において売却方針の決定を行いました。

その結果、山形工場は将来の使用が見込まれなくなりましたので、固定資産のグルーピング区分を変更し、独立してグルーピングを行うことにいたしました。このグルーピング区分の変更を踏まえ、固定資産の帳簿価額について「固定資産の減損に係る会計基準」に従って、時価との差額を減損損失として認識し、特別損失に計上(140百万円程度)する予定であります。

なお、回収可能価額は正味売却価額を使用し、不動産の簡易鑑定に基づいております。

以上